

【評価実施概要】

事業所番号	172000374		
法人名	医療法人社団 松島内科		
事業所名	グループホーム みのり		
所在地	小樽市緑1丁目16番3号 (電話) 0134-31-7333		
評価機関名	福祉サービス評価Kネット		
所在地	札幌市中央区南1条西5丁目7-601B		
訪問調査日	平成19年12月23日	評価確定日	平成20年1月22日

【情報提供票より】(19年12月17日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 14年 5月 20日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18人
職員数	16 人	常勤 12人, 非常勤 4人, 常勤換算	15人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り		
	3 階建ての	1~2 階部分	

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	32,222円	その他の経費(月額)	20,000円	
敷 金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1月当たり		35,000円	

(4) 利用者の概要(19年12月17日現在)

利用者人数	16名	男性	5名	女性	11名	
要介護1	4名	要介護2	2名			
要介護3	6名	要介護4	4名			
要介護5			要支援2			
年齢	平均	85歳	最低	70歳	最高	95歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	松島内科 野歯科医院
---------	------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

グループホーム(以下GH)は、閑静な住宅地に建てられており、小樽特有の傾斜地とあいまって一日中陽が差し込む明るく開放的な建物である。母体の松島医院は昭和の39年の開院より地域医療を担ってきており、先代院長の「住み慣れた町での普通の生活」という理念が、平成14年に現院長によりGHとして具体化された。そのためGHは医療的なサポートも徹底しており、定期的回診以外も即応的に医療が提供され、安心な生活の根源となっている。地域住民との交流も密接であり、介護相談やお祭りへの参加、冬場の雪投げ場としてGHのロビー・ヒートン部分利用の呼びかけや、GH会報の町内回覧などによる介護の啓蒙等、着実に役割を担いつつある。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	主体的に改善に取り組み、全職員の総意によりクリアしている。具体的には、ケアプランの見直しは3ヶ月ごとに実施しているし、啓発活動も町内会用の会報と家族向けのお便りの発行と用途に分けて定期実施している。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	全体会議により意義の確認をしている。また、自己評価のために職員全員で話し合い、よりサービスの向上につながるよう努力をしている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議は町内会の役員や家族を委員に招き、定期的を実施している。そこで討議された地域性の問題点や疑問なところは行政や支援センターに問い合わせ、次の会議で報告するようにしている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	入所時などに、理念や苦情窓口について充分説明しているが、御意見箱を設置し、意見や苦情について遺漏の無いように努めている。また、ホームでの生活についてご理解いただけるよう、毎月みのり通信を各家族向けに発行している。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	町内会との関係は良好といえる。町内会での行事への参加は積極的に出かけるようにしているし、またホームの行事にも多数参加してもらっている。消防訓練などについても、町内会と合同でする案も双方で検討している。

# 評価結果（詳細）

NPO法人 福祉サービス評価機構 Kネット

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	法人の理念「医療と介護のトータルサポート」を中心に、慣れた町で普通の生活、というホーム独自の理念を実践している。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	法人の理念は玄関内に大きく張り出されている。職員全員で理念の共有に努めており、日頃の全体会議などで確認している。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地元町内会に加盟しており、交流もしっかりと保たれている。ホーム独自の行事「みのり祭り」には子供みこしが華やかさを添えてくれており、入居者の楽しみにもなっている。また建物の駐車場は「ベテラン」されており、高齢なお宅の雪捨て場として重宝がられている。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価について、自分達の検証の場としても考え、自己評価は職員全員で取り組んでおり、外部評価についても、職員全員で検証し今後のサービスに生かせるように努めている。また、評価結果については、だれでも閲覧できるよう玄関内にいつも用意している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議は町内会役員やご家族、当ホームの職員により構成されており、定期的開催されている。会議で出された疑問点は行政等に確認して次回報告し、また意見や要望は積極的に取り入れている。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>運営推進会議に行政担当をお呼びしたが困難との事であり、そのままになっている。今後は運営推進会議に留まらず、支援センターや保健師にも呼びかけ、質の向上を目指している。</p>		
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>毎月、各家族向けに作った「みのり通信」の発行により、定期的な報告をしている。それ以外も状況に応じた連絡は随時、行っている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>入所時などに意見、苦情等の受け入れについて説明しているが、遺漏の生じないように意見箱の設置や来所時の声掛けを行っている。また行政や国保連合会の苦情窓口についても説明している。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>以前は定期的に配置換えを行った事もあるが、今は異動について最小限にとどめ、固定化するように努めている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修は部署から選ばれた教育委員会が、各種企画実行している。外部研修については、幹部職員が参加し、その内容を職員全員に周知するようにしている。</p>		<p>研修は介護サービス向上のために、必要な取り組みといえる。質の向上のみならず、意欲の維持増強にも不可欠と思われるため、外部の研修についても職員全員を対象として実施する事を期待したい。</p>
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム協議会に加わっており、総会や研修会に参加している。</p>		
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>基本情報を把握し、本人と家族の意向や必要性を見極め対応している。</p>		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>日々をともに過ごしながら、調理や家事の一般的な事を教えていただいたり、趣味などの得意分野を活かす場作りに心がけている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p> <p>1. 一人ひとりの把握</p>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>毎日の関わりの中から、見受けられるご本人の希望や御家族の意向を尊重するように務め、日々の申し送り等に記載し、本人本位の生活が出来るように努めている。</p>		
<p>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>月2回開催される定期の全体会議を通じて、職員から色々な意見を聴取したり、本人・家族の意向に添う形で介護計画を作成している。また必要な意見やアイデアは、随時受け入れるよう努めている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>3ヶ月毎に介護計画の見直しをしている。また、期間に関係なく必要に応じて随時、プランの練り直しを行っている。</p>		
<p>↓</p>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>母体の医院が近接しているため、医療的な側面は充実しており、また同じ法人でデイサービス、高齢者住居も保有しているため、それら多面的な情報も入手しやすく、ケアに活かされている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>母体は地域医療を担っている医療機関のため、大半の入居者はそこを主治医としている。また常に詳細なモニタリングがなされており、かかりつけ医が他院であっても、問題は生じていない。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>重度化や終末期についての方針、対応は全体会議等で話し合っているが、結論に至っていない。</p>		<p>重度化や終末期等、いわゆる看取りについては、今後のホーム運営の大きな指針となると思われる。医療と介護のトータルな視点での論議や取り組みを大いに期待したい。</p>
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1) 一人ひとりの尊重</b>					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>利用者の特性など職員間の申し送り、記録が整備されている。</p> <p>デイルーム、廊下などにソファが設置され、いつでも自分の時間が過ごせるよう工夫されている。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>職員からの声かけに笑顔でかえす入所者もいて、微笑ましい、ゆっくりとした関係づくりができています。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	各食卓にて職員と一緒に食事を取っている。個々の状態に合わせてさり気ない援助を行っている。調理や後片付けも一緒にするように務めている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴の状況を個別にチェックし(個別チェック表)、体調などにより入浴ができない場合は、他の日に振り替えなどの対応をしている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	食事後の後始末の役割などを楽しそうに行っており、職員の声かけも自然体を感じる。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	近くの公園に職員と一緒に外出している。ただし、冬期間は坂道での転倒危険もあり、個別性に配慮している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室、玄関、非常口など、鍵やセンサー類の使用はしていない。夜間については外部からの防犯を含めて一部施設対応している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年に2回、消防署の指導を得て防災訓練を実施している。今後は町内会との連携も視野にいれ話し合っている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養摂取や水分確保について、克明な記録による管理を続けている。水分や排泄量、血圧、下着の着替え、食事の摂取量等、詳細に分類し、記録として適正な判断の基礎資料としている。		このような作業をみると、このホームの力量の深さがよくわかる。今後とも、データに裏づけされた科学的な介護を続けるように期待したい。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	採光に優れている建物であるため、ブラインド等を頻繁に調整しながら適正な温度、光、湿気等に気を配っている。またトイレは車椅子も楽に使用できるよう工夫されている。廊下にもさり気なく椅子が用意されており、自然な空間が好ましく感じられる。		廊下から見える整理棚に洗剤等が置かれている。高さに注意しており、手に触れにくい場所であるが、安全の観点からカーテン等の利用による、直接眼に入らないようにする工夫が必要と思われる。
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	各室では、それぞれ使い慣れたタンスや椅子が使われている。冬期間では乾燥しやすい居室に加湿器を設置し、居心地よく過ごせるよう配慮が感じる。		

 は、重点項目。